

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587010503	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動c (国際社会と日本経済) / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	長谷川 実也 / Hasegawa Jitsuya, 徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	長谷川 実也 / Hasegawa Jitsuya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	長谷川 実也 / Hasegawa Jitsuya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jitsuya.hasegawa@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館624号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後。それ以外の場合は、事前にメールで問い合わせ下さい。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	経済のグローバル化が進展する中、企業は日本経済のみならず世界経済の状況を勘案して活動していく必要があります。本講義では、長崎県を含め、日本の貿易構造の変化、国際的な経済の動きが日本に与える影響及び直面する課題を概観し、それら課題への長崎県を含めた地域社会の今後の取り組みについて考察します。		
授業到達目標 / Course goals	1. 国際経済に係る基礎的素養及び幅広い知識を身につけ、国際経済に関するニュースの概要の理解するなどによりその最新の動きを把握できるようになること、又、 2. それら素養と知識を駆使した思考方法・素養を身につけるため、国際経済が直面する最新の問題について自らの考えを説明できるようになることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小レポート (70%)、定期試験 (30%) を基本とし、60%以上合格とする。講義への積極的な参加等もプラス要素として適宜加味する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	国際経済、国際貿易、貿易自由化、食料安全保障、知的財産保護、環境保護		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しません。毎回の講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	講義で使用するレジュメやパワーポイント等はLACSに掲載するので、必要に応じてプリントアウトして講義に持参すること。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	長谷川 実也/世界貿易機関 (WTO)、経済連携協定 (EPA) などにおける貿易手続分野の交渉/WTO、EPA など貿易分野の国際協力機構での交渉経験を活かし、それら機構の実践的活動を説明し、理解を深めさせる。 /	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	イントロダクション	F
第2回	貿易概況 ( 1 ) 日本	A
第3回	貿易概況 ( 2 ) 世界	A
第4回	貿易概況 ( 3 ) 九州・長崎	A
第5回	課題 ( 1 ) 貿易自由化 ( 1 )	A
第6回	課題 ( 1 ) 貿易自由化 ( 2 )	A
第7回	課題 ( 2 ) 農業・食料安全保障 ( 1 )	A
第8回	課題 ( 2 ) 農業・食料安全保障 ( 2 )	A
第9回	課題への対応 ( 1 ) (注) 「課題への対応」に関する講義については、実際に国際的な業界の第一線で活躍する方々による現場での活動に関する講義を1?2回予定している。講師のご都合により、日程が前後することがあるので、注意すること。	A
第10回	課題への対応 ( 2 )	A
第11回	課題 ( 3 ) 知的財産保護	A
第12回	課題 ( 4 ) 開発	A
第13回	課題 ( 5 ) 環境保護・エネルギー	A
第14回	課題 ( 6 ) その他	A
第15回	講義全体のまとめ	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587011702	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動c (社会制度と経済活動) / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	神園 健次 / Kamizono Kenji, 徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	神園 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	神園 健次 / Kamizono Kenji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-kamiz nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	個別対応。各自メールにて日時予約のこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	貨幣とは、経済活動の中で生ずる債権・債務関係に匿名性が与えられることによって、これが譲渡可能となったものと考えられることができる。こうした譲渡可能な債務は、一般的受容性を持つことになり、財物の価値を表示するとともに、交換手段、支払手段、価値保蔵手段として機能するようになる。ところが、現実経済の中に実装されてきた貨幣システムは時代によって千差万別で、そこには国家や企業家、銀行家達の間の利害と覇権争いも反映され、これを理解しようと苦闘する研究者たちの手により、数多の学説が生み出されることにもなった。貨幣及び貨幣論は、常に混乱の中にあつたといえる。この授業は、時代とともに進化してきた貨幣について、理論と歴史の両面から考察することによって、学生の教養と人格の形成に資することを目的とする。		
授業到達目標/Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験100%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは使用しない。参考書として、 1. フェリックス・マーティン 『21世紀の貨幣論』 東洋経済新報社 2. ニーアル・ファーガソン 『マネーの進化史』 早川出版 3. デヴィッド・グレーバー 『負債論』 以文社 4. アグリエッタ&オルレアン 『貨幣主権論』 藤原書店 を挙げておく。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	貨幣とは何か
第2回	貨幣以前の世界
第3回	経済的価値の測定
第4回	貨幣と国家
第5回	銀行と信用
第6回	中央銀行
第7回	貨幣価値の決定要因
第8回	債務と金融不安
第9回	貨幣の廃止と封じ込めの試み
第10回	貨幣の構造改革
第11回	経済学と貨幣
第12回	主流派経済学と反主流派経済学の貨幣観
第13回	銀行システムの再編
第14回	貨幣論の再生に向けて
第15回	総括

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587012102	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動c (経営情報と会計情報) / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	508		
担当教員TEL/Tel	373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Before and after class		
授業の概要及び位置づけ/Course overview			
授業到達目標/Course goals	We aim to be able to read company statement of accounts.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につ けて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	Balance sheet, Income statement, Accounting information		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 ( URL ) /Remarks ( URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) /Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Role of accounting information
第2-14回	Structure of accounting
第15回	Work to utilize accounting

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587012102	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動c (経営情報と会計情報) / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館508		
担当教員TEL/Tel	内線373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間 (事前に質問事項をメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業活動の目的は営利である。しかし、利益の額は、計算してみなければわからない。ここに会計の主観性があり、これを秩序立てるために制度がある。この講義では、日本企業が公表する会計情報(財務諸表)の意味や見方を説明する。会計数字から何かが分かるのか、またどのように読み取ったらいいのかを学ぶことである。これらは、就職活動において就職先の会社概要を知る際にも有効であり、また社会人として身につけておくべき知識であると考えられる。		
授業到達目標/Course goals	企業が公表する財務諸表を読めるようになることを目標とする。具体的には、以下のとおりである。 1 日本の会計制度の概要を知る 2 財務諸表を入手できるようになる 3 基本的な財務諸表の概要を説明できるようになる 4 会計に関連する基礎的な用語を説明できるようになる 5 会計情報を読めるようになる(長崎に関連のある企業の決算書を利用する)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に臨む態度、グループワーク・討論の貢献度(20%)、プレゼンテーション(40%)、最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習内容については講義中に指示する。授業内容はおおよそ予定として考えているが、受講者の人数によって、変更することもある。		
キーワード/Keywords	会計の仕組み、貸借対照表、損益計算書、会計情報		
教科書・教材・参考書/Materials	谷 武幸、桜井 久勝編著『1からの会計』中央経済社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	本講義の受講にあたって、各自パソコンを持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	会計情報の役割及び入手方法
第2回	会計制度と社会
第3・4回	会計の仕組みと貸借対照表
第5・6回	在庫の会計と生産設備の会計
第7・8回	金融資産の会計、負債と資本の会計
第9・10回	損益計算書と営業活動の会計
第11・12回	儲かる仕組みの分析、利益構造の分析
第13・14回	経営管理と会計
第15回	会計を活用する仕事